

令和2年3月11日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

経済建設常任委員会委員長 平塚英教

所管事務調査結果報告書

平成30年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

1 調査期間 平成30年6月11日から令和2年3月11日まで

2 構成委員 平塚英教、村上進一、荒井浩二、渋井由放、沼田邦彦、中山五男

3 調査事項

- (1) 産業振興対策に関する事項
- (2) 都市建設に関する事項
- (3) 上下水道及び環境に関する事項
- (4) その他所管に属する事項

4 調査結果

- ・平成30年7月23日、一般社団法人栃木県建設業協会烏山支部と建設業に関する意見交換会を行った。市発注工事や入札制度等に対する意見、要望及び今後の課題について貴重な意見交換を行うことができた。
- ・平成30年8月9日、山梨県笛吹市において笛吹川石和鶉飼の活用について視察研修を行った。笛吹市では観光客誘致を目的に、伝承を基に笛吹川石和鶉飼を復活させた。7月から8月の水木土日曜日に観光客に鶉匠体験を、また温泉街とコラボした花火大会の実施と観光振興に役立てており、本市において那珂川・荒川を活用した観光振興に努めることが必要であると感じた。
- ・翌10日、山梨県北杜市において耕作放棄地の有効活用による企業型農業参入等について視察研修を行った。北杜市養蚕業の衰退等により、農地面積の17%が耕作放棄地であったが、県と市農業振興公社が連携し、企業型農業の候補地としてPRを行った結果、平成14年度から平成29年度までに22社の企業を誘致、約500人の雇用拡大に繋がった。本市において耕作放棄地の有効活用を図った産業振興に役立てるための参考となった。

- ・平成30年11月6日、那須烏山商工会と市の産業振興に関する意見交換会を行った。市の産業に対する意見、問題及び課題について貴重な意見交換を行うことができた。
- ・平成31年1月、合併（平成17年10月）から平成30年12月までに那須烏山市議会において採択された請願及び陳情のうち経済建設常任委員会所管の対応状況について調査研究を行った。当委員会が所管の請願及び陳情29件について調査の結果、現在、対応中及び未対応のものがあることから、市において今後も財源確保に努めるとともに事業実施に向けて取り組まれない。
- ・平成31年2月7日、茨城県北茨城市を訪問し、民間活力を活用した子育て支援住宅整備事業について視察を行い、同年8月8日、市役所南那須庁舎において市遊休地の活用をテーマに北茨城市で受託、実施した事業者が全国で実施している事業について研修を行った。地方自治体の遊休地を事業者に貸し、良質な賃貸住宅を整備、建築住宅を固定賃料で自治体が借り、同事業者に入居管理業務を委託する。事業終了後（30年後）は無償で自治体に譲渡される。本市においても合併以来、使用されていない市有地が多くあり、財政不足のおり、民間資金活用による子育て世帯の定住促進に向けた住宅整備事業は有効であると感じた。
- ・令和元年11月7日、台風19号による河川の堤防決壊や越水により土砂等が流入し463.8haの甚大な被害を受けた農地及び農業用施設について現地調査を行った。今後の作付けに向け、市において早急な農地及び農業用施設災害復旧に取り組まれない。
- ・令和元年11月20日、台風19号による河川の堤防決壊や越水により浸水した水道庁舎、配水機能が停止した城東浄水場及び河川増水による土砂等が堆積し、使用できない大桶運動公園について現地調査を行った。今後、市において早急な災害復旧及び水害対策について取り組まれない。
- ・令和2年1月20日、市役所南那須庁舎において、久慈川・那珂川流域における減災対策協議会が公表した令和元年台風19号を踏まえた那珂川緊急治水対策プロジェクト及び那珂川、荒川災害復旧事業について研修を行った。今後、緊急治水対策事業の必要性を感じた。
- ・令和2年2月4日、県庁県土整備部砂防水資源課及び同河川課において豪雨時の河川増水被害を少しでも回避できるよう県管理ダム及び民間管理ダムの調整放流に関して要望を行った。
- ・同日、茨城県筑西市において、母子島遊水地の経緯や整備状況等について視察研修を行った。当地は本市を源流とする小貝川の下流に位置し、昭和61年8月の洪水により家屋や農地等の浸水等甚大な被害を受けた場所である。特に小貝川と大谷川の合流地域においての災害復旧事業として、国の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業が認定され、昭和61年度から5ヶ年、総事業費約208億円をかけた事業による遊水地の整備、小貝橋の架け替え及び築堤護岸・掘削等が行われた。本市河川の水害対策において参考になった。